

## アンケート調査について

### ■目的

特別養子縁組当事者や支援者等の意見を広く把握するとともに、寄せられた回答を本専門委員会において実施するヒアリングの対象者の選定の参考とする。

### ■方法

WEB等を用いたアンケート調査（選択式および自由記述）

調査票は、児童相談所、民間あっせん機関等を通じて調査対象者に送付する。

### ■調査対象者

- (1) 養子当事者（満 15 歳以上）
- (2) 養親当事者
- (3) 実親（生みの親）当事者
- (4) 児童相談所
- (5) 民間あっせん機関

### ■調査項目

すべての質問に答えなくてもよいことを明示し、意見を集約する。

（具体的な質問内容については調査対象者ごとのアンケート項目を参照）

#### (1) 養子当事者

- ① 親、きょうだい、家族との関係について相談した経験について
- ② 真実告知等について
- ③ ルーツ探し、生い立ちの整理、記録へのアクセスについて
- ④ 実親（生みの親）や家族との連絡・交流について
- ⑤ 養子同士の交流や活動について
- ⑥ ①～⑤以外で、期待する仕組みやサポート等について
- ⑦ その他、伝えたいこと

#### (2) 養親当事者

- ① 縁組成立前後の支援（研修、手続きサポート等）について
- ② 成立後の相談支援について
- ③ 真実告知等について
- ④ こどものルーツ探し、生い立ちの整理、記録へのアクセスについて

- ⑤ 実親（生みの親）や家族との連絡・交流について
- ⑥ 養親同士の交流や活動、養子同士の交流や活動について
- ⑦ ①～⑥以外で、期待する仕組みやサポートについて
- ⑧ その他、伝えたいこと

(3) 実親（生みの親）

- ① こどもを託した際の児童相談所、民間あっせん機関等の関わりについて
- ② 託したこどもの様子の把握状況等について
- ③ こどもを託した後のサポートについて
- ④ 期待する仕組みやサポートについて

(4) 児童相談所・民間あっせん機関

- ① 現行の制度等に基づく取組の実施状況について
- ② 現行の制度等に基づかない独自の取組の実施状況について
- ③ 取組等の実施上の課題について
- ④ 取組等の実施に向けて必要と考える対応策について
- ⑤ 現行の制度等で不十分と考える点について
- ⑥ ⑤の課題の解決に向けて必要と考える対応策について
- ⑦ 児童相談所と民間あっせん機関の連携における課題等について

■個人情報の取扱い

アンケート調査の回答は、個人情報の記載がなくても可能とする。ただし、ヒアリング対象候補者として対応が可能な場合は、連絡先等を記載してもらい、事務局から連絡が可能となるようにする。

また、個人情報についてはヒアリング実施のために必要な連絡以外に使用することがないことをアンケート画面上に明記する。

## 【養子へのアンケート調査】

こども家庭庁では、専門委員会で『特別養子縁組の支援のあり方』について考えています。今後のサポートなどに活かすため、特別養子縁組をされた養子当事者の方に、アンケートへの回答をお願いします。

アンケートの回答時間は、およそ10～15分程度です。わからない場合や、答えたくない場合は、質問をとばして、あなたの伝えたいことだけを答えてもらうことができます。(すべての質問に答えなくてもOKです)

### 《基本項目》

問 A 令和8年4月1日時点のあなたの年代を教えてください。

10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

問 B あなたの性別を教えてください。

男性 女性 どちらともいえない

問 C あなたの特別養子縁組が成立したときの年齢がわかれば教えてください。

0～17歳 まで1歳区分で選択 わからない

問 D あなたは、いずれの機関による特別養子縁組のあっせんであるか、わかれば教えてください。

児童相談所 民間あっせん機関 わからない

もし、機関の名称がわかれば、教えてください(※各選択肢で自由記述回答欄を設定)

問 E あなたが育った家庭には、あなた以外に何人のこどもがいたのか、わかれば教えてください。

0～10名 まで1名刻みで選択 わからない

問 F これまで、同居家族以外で、あなたのことを特に応援してくれてきた人を教えてください。(複数可)

友人 恋人、パートナー 学校の先生 職場のなかま・上司  
育て親の家族・親族 実親(生みの親) 実親(生みの親)の家族や親族  
児童相談所の職員 民間あっせん機関の職員 それ以外の機関の職員  
地域の人 養子当事者のなかま 里親会のなかま その他(自由記述)

≪質問項目≫

問1-1 特別養子縁組に関連して、親、きょうだい、家族との関係について、あなたが学校や職場、相談機関等で相談して良かったと感じた経験があれば教えてください。

問1-2 特別養子縁組に関連して、親、きょうだい、家族との関係について、あなたが学校や職場、相談機関等で相談できずに悩んだり、困ったりした経験があれば教えてください。

問1-3 特別養子縁組に関連して、親、きょうだい、家族との関係について、あなたが相談できずに悩んだり、困ったりしたときに、どのようなサポートや助けがあれば良いと思うか、教えてください。

問2-1 養子であることを伝えられること(真実告知やテリングなど)について、あなたが良かったと感じた経験があれば、教えてください。

問2-2 養子であることを伝えられること(真実告知やテリングなど)について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問2-3 養子であることを伝えられること(真実告知やテリングなど)について、どのようなサポートや助けがあれば良いと思うか、教えてください。

問3-1 ルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスすることについて、もし、経験があれば、あなたが良かったと感じたことを、教えてください。

問3-2 ルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスすることについて、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問3-3 ルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスすることについて、どのような仕組みやサポートがあれば良いと思うか、教えてください。

問4—1 実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、もし、経験があれば、あなたが良かったと感じたことを、教えてください。

問4—2 実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問4—3 実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、どのような仕組みやサポートがあれば良いと思うか、教えてください。

問5—1 養子同士の交流や活動について、もし、経験があれば、あなたが良かったと感じたことを、教えてください。

問5—2 養子同士の交流や活動について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問5—3 養子同士の交流や活動について、どのような仕組みやサポートがあれば良いと思うか、教えてください。

問6 問1～5以外で、特別養子縁組について、あったら良かった、あるいは、あったら良いと思うこと(例:〇〇といったサポートがあるとよい)があれば、教えてください。

問7 あなたが、本アンケートで伝えたいことがあれば、教えてください。

☆アンケートへの回答、ありがとうございました。

今後、専門委員会では、養子当事者の方々に、ご自身の体験や考えなどをお話ししてもらうことを予定しています。事務局からの連絡が可能であれば、以下の情報をお答えください。

提供いただいた情報について、本アンケートの目的以外で使用することはありません。

- ・氏名
- ・住所(都道府県まで)
- ・連絡先メールアドレス
- ・連絡先電話番号

## 【養親へのアンケート調査】

こども家庭庁では、専門委員会で『特別養子縁組の支援のあり方』について検討しています。今後の支援等に活かすため、特別養子縁組をされた養親当事者の方に、アンケートへの回答をお願いします。

アンケートの回答時間は、およそ10～15分程度です。わからない場合や、答えたくない場合は、質問をとばして、あなたの伝えたいことだけを答えていただくことができます。(すべての質問にお答えいただかなくても結構です。)

### 《基本項目》

問 A 令和8年4月1日時点のあなたの年代を教えてください。

20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

問 B あなたの性別を教えてください。

男性 女性 どちらともいえない

※問 C～E については、こども1人ずつ、選択を回答できるように設定

問 C あなたのこどもの特別養子縁組が成立したときの、あなたの年代を教えてください。

20代 30代 40代 50代  
60代 70代 80代以上

問 D あなたのこどもの特別養子縁組が成立したときの、こどもの年齢を教えてください。

0～17歳 まで1歳区分で選択 わからない

問 E あなたのこどもは、いずれの機関による特別養子縁組のあっせんか教えてください。

児童相談所 民間あっせん機関 わからない

もし、機関の名称がわかれば、教えてください(※各選択肢で自由記述回答欄を設定)

問 F これまで、同居家族以外で、特にあなたことを応援してくれてきた人を教えてください。(複数可)

友人 パートナー 学校の先生 職場のなかま・上司  
自身の家族・親族 実親(生みの親) 実親(生みの親)の家族・親族  
児童相談所の職員 民間あっせん機関の職員 それ以外の機関の職員  
地域の人 養親当事者のなかま 里親会のなかま その他(自由記述)

≪質問項目≫

問1-1 特別養子縁組に関する支援(研修、手続き等のサポート、相談支援、経済的支援等)について、あなたが良かったと感じた経験があれば教えてください。

問1-2 特別養子縁組に関する支援(研修、手続き等のサポート、相談支援、経済的支援等)について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば教えてください。

問1-3 特別養子縁組に関する支援(研修、手続き等のサポート、相談支援、経済的支援等)について、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問2-1 特別養子縁組成立後、養子との関係、養子の成長発達や学業、家族や仕事等について、あなたが悩みを相談して良かったと感じた経験があれば教えてください。

問2-2 特別養子縁組成立後、養子との関係、養子の成長発達や学業、家族や仕事等について、あなたが悩みを相談できなかつたり、相談してもしてうまくいかなかつたりした経験があれば、教えてください。

問2-3 特別養子縁組成立後、養子との関係、養子の成長発達や学業、家族や仕事等について、あなたが悩みを相談するにあたって、期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問3-1 養子であることをこども(養子)に伝えること(真実告知やテリングなど)について、あなたが良かったと感じた経験があれば、教えてください。

問3-2 養子であることをこども(養子)に伝えること(真実告知やテリングなど)について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問3-3 養子であることをこども(養子)に伝えること(真実告知やテリングなど)について、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問4-1 こども(養子)がルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスしたりすることについて、もし、経験がありましたら、あなたが良かった

と感じたことを、教えてください。

問4ー2 こども(養子)がルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスしたりすることについて、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問4ー3 こども(養子)がルーツ探しや生い立ちの整理をしたり、特別養子縁組に関する記録にアクセスしたりすることについて、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問5ー1 こども(養子)の実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、もし、経験がありましたら、あなたが良かったと感じたことを、教えてください。

問5ー2 こども(養子)の実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問5ー3 こども(養子)の実親(生みの親)や家族(きょうだい、祖父母等)との連絡・交流について、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問6ー1 養親同士の交流や活動、養子同士の交流や活動について、もし、経験がありましたら、あなたが良かったと感じたことを、教えてください。

問6ー2 養親同士の交流や活動、養子同士の交流や活動について、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば、教えてください。

問6ー3 養親同士の交流や活動、養子同士の交流や活動について、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問7 問1～6以外で、特別養子縁組に関連して、あなたが期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

問8 あなたが、本アンケートで伝えたいことがあれば、教えてください。

☆アンケートへのご回答、ありがとうございました。

今後、専門委員会では、養親当事者の方々に、ご自身の体験や考えなどをお話ししてもらうことを予定しています。事務局からの連絡が可能であれば、以下の情報をお答えください。

提供いただいた情報について、本アンケートの目的以外で使用することはありません。

- ・氏名
- ・住所(都道府県まで)
- ・連絡先メールアドレス
- ・連絡先電話番号

## 【実親(生みの親)へのアンケート調査】

こども家庭庁では、専門委員会で『特別養子縁組の支援のあり方』について検討しています。今後の支援やサポート等に活かすため、特別養子縁組でこどもを託された実親(生みの親)の方に、アンケートへの回答をお願いします。

アンケートの回答時間は、およそ10～15分程度です。わからない場合や、答えたくない場合は、質問をとばして、あなたの伝えたいことだけを答えてもらうことができます。(すべての質問に答えなくてもOKです。)

### 《基本項目》

問A 令和8年4月1日時点のあなたの年代を教えてください。

- 10代    20代    30代    40代    50代  
60代    70代    80代以上

問B あなたの性別を教えてください。

- 男性    女性    どちらともいえない

※問C～Eについては、こども1人ずつ、選択を回答できるように設定

問C あなたがこどもを託したときの、あなたの年代を教えてください。

- 10代    20代    30代    40代    50代  
60代    70代    80代以上

問D あなたがこどもを託したときの、こどもの年齢を教えてください。

- 0～17歳 まで1歳区分で選択    わからない

問E あなたが、いずれの機関を通じて、こどもを託したのか、わかれば教えてください。

- 児童相談所    民間あっせん機関    わからない

もし、機関の名称がわかれば、教えてください(※各選択肢で自由記述回答欄を設定)

問F これまで、あなたのことを特に応援してくれてきた人を教えてください。(複数可)

- 友人    パートナー・恋人    学校の先生    職場のなかま・上司  
自身の親    自身の家族・親族    こどもを託した里親・養親  
児童相談所の職員    民間あっせん機関の職員    病院など医療機関の職員  
市町村の職員    それ以外の機関の職員    地域の人    その他(自由記述)

《質問項目》

問1-1 こどもを託したとき、児童相談所、民間あっせん機関などによる関わりについて、あなたが良かったと感じた経験があれば教えてください。

問1-2 こどもを託したとき、児童相談所、民間あっせん機関などによる関わりについて、あなたが悩んだり、困ったりした経験があれば教えてください。

問1-3 こどもを託すときに、児童相談所、民間あっせん機関などによる関わりについて、あなたが欲しかった仕組みや生活面・心理面のサポートがあれば、教えてください。

問1-4 なぜ、問1-3に記載されたことがあれば良いと思うのか、教えてください。

問2-1 こどもを託したあと、その後の子どもの様子を知っていますか。

はい(問2-2)、いいえ(問2-3)

問2-2 (はい)こどもについて、どのようにしてその後の様子を知ることができていますか。

問2-3 (いいえ)こどもについて、その後を知りたいと思って誰かに相談したことがありますか。

はい(問2-4)、いいえ(問2-5)

問2-4 あなたが相談したとき、相談した相手の反応や対応について、教えてください。

問2-5 現在、託したこどものその後の様子を知りたいと思いますか。

はい、いいえ

問2-6 それは、なぜですか。

問3-1 あなたがこどもを託してから今までの間、児童相談所や民間あっせん機関などから、生活面や心理面のサポートを受けたことがあれば、その内容を教えてください。

問3ー2 あなたがこどもを託してから今までの間、児童相談所や民間あっせん機関などから、あなたが欲しかった仕組みや生活面・心理面のサポートがあれば、教えてください。

問4 今後、ご自身が期待する仕組みやサポートがあれば、教えてください。

☆アンケートへの回答、ありがとうございました。

今後、専門委員会では、特別養子縁組でこどもを託された実親(生みの親)の方々に、ご自身の体験や考えなどをお話ししてもらうことを予定しています。事務局からの連絡が可能であれば、以下の情報をお答えください。

提供いただいた情報について、本アンケートの目的以外で使用することはありません。

- ・氏名
- ・住所(都道府県まで)
- ・連絡先メールアドレス
- ・連絡先電話番号

## 【児童相談所・民間あっせん機関へのアンケート調査】

こども家庭審議会では、社会的養育・家庭支援部会の下に、『特別養子縁組に関する支援の在り方に関する専門委員会』が設置され、特別養子縁組に関する支援の在り方が検討されています。

本アンケート調査は、専門委員会における議論の参考とするために、児童相談所、民間あっせん機関に特別養子縁組制度等に関する現在の取組や課題についてお伺いするために実施するものです。ご多忙の中恐れ入りますが、アンケートへの回答にご協力をお願いします。

国においては、特別養子縁組に関して 2016 年の児童福祉法の改正および養子縁組あっせん法(民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律)の制定のほか、平成30年度の「養子縁組民間あっせん機関助成事業」の開始、「民間あっせん機関による養子縁組のあっせんを受けて養子となった児童に関する記録の保有及び当該児童に対する情報提供の留意点」(令和3年3月)、「社会的養育推進計画の策定について」(令和6年3月)、令和「児童相談所運営指針の改正」(令和6年4月)等の通知の発出等、取組が実施されています。また、フォスタリング機関事業の拡充や里親支援センターの設置などが進められています。

### 質問1

特別養子縁組の推進にむけて、貴自治体および機関において、上記のような法制度・通知等に基づいて(直近 5 年間で)新たに実施された取組や拡充した事業等があれば、主なものを教えてください。

### 質問2

特別養子縁組の推進にむけて、上記のような法制度・通知等に基づいて実施するにあたり、貴自治体および機関において、実施困難な状況や、課題に感じる点があれば教えてください。(人員体制、予算、人材確保や育成、関係機関や社会への周知など、幅広い観点から、ご意見をお聞かせください。)

### 質問3

特別養子縁組の推進にむけて、国では制度化や事業化がされていないもので、貴自治体および機関において、(直近 5 年間で)独自の取組や事業、活動等がありましたら、教えてください。

#### 質問4

養子、養親、実親(生みの親)それぞれへのサポートや支援等について、貴自治体および機関において、現在の制度や通知、事業等では、対応が十分でないと考えておられる課題があれば教えてください。

#### 質問5

質問4に関連して、貴自治体および機関において、課題を解決するために必要と考える支援策や実施体制について、お考えがあれば教えてください。

#### 質問6

特別養子縁組制度における対応や支援等は、児童相談所と民間あっせん機関が担っています。貴自治体および機関において、この点についての課題や今後のあり方について、お考えがあれば教えてください。

☆アンケートへの回答、ありがとうございました。

以下について、ご記載をお願いいたします。

- ・自治体および民間あっせん機関名
- ・回答者氏名
- ・連絡先メールアドレス
- ・連絡先電話番号